



令和7年度

チャレンジしてみよう!

夏の作品ばいゆう



春日部市立幸松小学校

はじめに・・・



した ぶん よ
下の文をよく読んでね!

- ①内容と紙の大きさをよく読んで応募しましょう。(別紙参照)
- ②応募出品票は、決まったものを決められた場所にはりましょう。
- ・低、中学年の人、家は、家の人に書いてもらいましょう。
 - ・応募出品票に記入もれがあると出品できないこともあります。
- ③コンクールによって全員が出品できないことがあります。返却されないものもあります。
- ④大切な作品です。丸めたり、折ったりせず、平らなまま新聞紙等で包んで持ってきてきましょう。

つぎのページから、いよいよスタートです。

チャレンジしてみたいものを、きみがえらぼう!!



令和 7 年度

夏休みの図工

幸松小学校図工部

2025.7.18



楽しい夏休みが始まりました。夏休みを元気に過ごし、大好きな絵もたくさん描いてください。

今年もたくさんの会社や団体から絵の募集が来ています。大人は子どもたちの絵が大好きです。なぜか、わかりますか？『夢』と『希望』があふれているからです。先生は、一生懸命描いた絵は、みんな

上手だと思っています。自分の夢や創造を十分発揮し、自信を持ってチャレンジしてみてくださいね。【ちいさいおともだちは、かんじがおおいのでうちのひとと、いっしょによんでくださいね。】



No.	コンクール名	内容・テーマ	応募規格	備考
1	第40回『WE LOVE トンボ 絵画コンクール』	・「トンボ」「トンボのいる風景」「トンボと遊んでいる絵」など	・ B3サイズの画用紙 (約 38 cm×54 cm) ・ たて、よこ自由	☆ 応募票
2	第50回『みどりの絵コンクール』	・子どもたちが遊びや体験を通じて親しんだ自然、本や絵本の世界で学んだ自然、自分の中に広がるイメージとしての自然、空想したことなども含め、自然に関すること	・ B3画用紙	☆ 応募票
3	第22回『トラックの絵コンクール』	～こんなトラックあったらいいな～	・ B3画用紙 ・ 横書き	☆ 応募票

※内容的に取り組みやすく、出品者全員の応募を考えているものに☆印がしてあります。学校に提出された作品は、全て応募するという訳ではなく代表作品のみということもあります。また、応募された作品の返却はない場合が多いですのでご了承ください。

応募票を必ず貼ってください。低学年は保護者の方に記入をお願いします。



市からの募集



【防火ポスター】

☆対象 4, 5, 6年生

- ・ 標語を必ず入れる

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

(字の間違いに気を付けましょう。)

- ・ B3画用紙
- ・ **必ず縦書き**
- ・ 規格外は省き、全員出品します。
(作品の展示、利用、広報誌等の掲載について、承諾を前提として出品すること。)

【人権ポスター】

- ・ 対象 6年生
- ・ テーマ 「人権」
- ・ 大きさは自由です。
- ・ 2～3点を選んで出品します。
(作品の展示、利用、広報誌等の掲載について、承諾を前提として出品すること。)

書写 1

第 6 5 回 下水道の日

〈募集する作品〉

1 年生～ 3 年生 : 「下水どう」

4 ～ 6 年生 : 「下水道の役割」

○年	ど	下
なまえ	う	水

○年	の	下
なまえ	役割	水道

用紙 : 半紙 (333mm×242mm程度)

文字 : 1～3年生 : 下水どう

4～6年生 : 下水道の役割

その他 : 楷書、行書に限ります。

作品の左端に学年、氏名を墨書きしてください。

応募票の貼付は必要ありません。

書写2

第69回JA共済小・中学生書道コンクール

〈課題〉

	条幅の部	半紙の部
第1学年	やさい	わら
第2学年	すばる	めばえ
第3学年	せみの声	たねまき
第4学年	食を育む	結実
第5学年	耕す大地	流れる雲
第6学年	不断の努力	生命の源

〈応募作品について〉

- ・名札を左下に必ず張り付けてください。
- ・小学校3学年以上は、学年は「漢数字」・氏名は原則「漢字」とします。

①条幅の部

- ・用紙 **画仙紙半切大（タテ 136cm×ヨコ 35cm）**
- ・書体 楷書

②半紙の部

- ・用紙 **半紙（タテ約 33cm×ヨコ約 24cm）ただし美濃判半紙は使用しないでください。**
- ・書体 楷書

書写3

JA〈学年・氏名の記入について〉

3文字課題の場合のみ、学年・氏名の配置は 例①、例②どちらでも可とします。

○年	○	○
なまえ		○
名札		

	○	○
なまえ	○年	○
名札		

図書 1

春日部市 図書館を使った調べる学習コンクール

〈募集する作品〉

図書館の本などを使った「調べる学習」の作品を募集します。ただし、未発表のものに限ります。

〈調べるテーマ〉

調べるテーマは身近な疑問や不思議に思ったこと、興味があることなど自由です。

〈作品のまとめの目安〉

サイズ:B4 サイズまで ページ数:1ページ以上50ページ以内

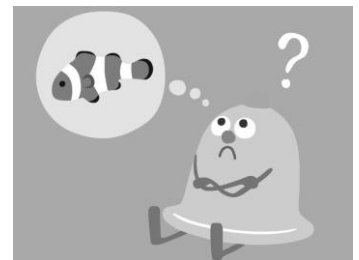
※2ページ以上になる場合は、ホチキス止めをして用紙にページ番号をふってください

※調べるときに利用した資料名や図書館名を書いてください。

○調べる学習の4つのステップ

1 テーマを決めよう

- ・不思議や疑問を探してみましょう
- ・身のまわりをよく見よう
- ・「どうしてかな？」と疑問の形で考えてみよう
- ・比べてみよう
- ・仮説をたててみよう



2 図書館で調べる

- ・地域の図書館や学校図書館で調べてみましょう
- ・司書さんに聞いてみよう
- ・複数の資料で調べましょう



3 もっと調べる

- ・まちや自然のなかにもでかけてみましょう
- ・実験しよう、観察しよう
- ・博物館・動物園・資料館に行こう
- ・人の話も聞いてみよう
- ・もう一度図書館で調べてみよう



4 書いてまとめよう

- ・友だちに自分で調べたことを教えてあげるつもりでまとめましょう
- ・なぜ、そのことを調べたいと思ったか
- ・なにをどうやって調べたか
- ・目次をつくろう
- ・どこでなにを調べたか、参考文献を書こう
- ・調べてわかったことに対して、どう考えたか
- ・自分のテーマが伝わるようなオリジナル題名をつけよう



図書2

青少年読書感想文コンクール 〈読書感想文の書き方〉

1. 好きな本、気になる本を手に取ります。
2. 本のどの部分が感動したのか、なぜ感動したのか。面白い部分はどこか、なぜ面白いのかなど気になる部分を考えながら本を読みます。
(付箋を貼ったり、メモをしたりすると感想文の内容を書くときに便利です)
3. 自分の生き方や経験を本の世界と照らし合わせて、感じたこと、思ったことなども考えます。
4. 考えたことをどの順番に書くかを考えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の言いたいことが伝えられるかを考えながら書く。

〈読書感想文を書く時の注意点〉

○それぞれの学年で決まっている字数を越えないように書きましょう。

(低学年800文字、中学年・高学年1200文字)

※低学年は240字の原稿用紙をつかっていただいてもかまいません。

○本文には感想文から書きましょう。

(名前、感想文の題名、読んだ本の名前は原稿用紙の枠の外に書きましょう。)

○読んだ本の名前も原稿用紙に書きましょう。書く場所は、原稿用紙の枠の外です。

図書3

〈課題図書一覧〉

低学年の部	中学年の部	高学年の部
ライオンのくにのネズミ	ふみきりペンギン	ぼくの色、見つけた！
ぼくのねこポー	バラクラバ・ボーイ	森に帰らなかったカラス
ともだち	たった2℃で…：地球の 気温上昇がもたらす環境 災害	マナティーがいた夏
ワレワレはアマガエル	ねえねえ、なに見てる？	とびたて！みんなのドラ ゴン：難病ALSの先生 と日明小合唱部の冒険

よくあるご質問

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」「どんな本を読んだらいいかわからない」
そんな声にお答えします。さあ、読書感想文にチャレンジしよう！

Q: 読書感想文は、何のために書くのですか。

書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q: 「自由読書」・「課題読書」って何ですか。

読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、年齢に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品などから選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみたりしてください。

図書4

Q:どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の学校図書館の先生に相談してもいいでしょう。友だちと紹介し合うのもいいですね。

Q:なぜ、本を読むことが大切なのか。

一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q:読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要があるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「 」(カギかっこ)でくくりましょう。

Q:題名はどうつけたらいいですか。

本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

図書 5

Q: 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝わるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中のあるふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱいに使って、思いつき読書の感動を表現してみましょう。

Q: 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのか、自分が一番言いたいことは何なのかがはっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずです。

夏休み自由研究のまとめ方

理科の自由研究をはじめるみなさん。まだ知らない不思議な世界を自分の手で解決するためにテーマのを見つけ方、調べ方や実験の仕方、まとめ方などをこの手紙にのせました。

おうちの人とこの手紙をよく読んで、楽しく充実した自由研究にしていきましょう。

自由研究はレポート形式での提出をお願いします。形式等は【理科3 作品の様式（推奨）作品の内容・レイアウトについて】にあるので、そのページを見て取り組んでください。なお、【理科4】以降のページでは作品例を紹介しているので、参考にしてください。

●テーマ（課題）と計画を考える。

「どうしたら金魚を上手にすくえるのだろう。」「どんな紙飛行機を作れば遠くに飛ばせるだろう」「授業で取り組んだことをさらに深めてみたいな」

このように、理科の学習や日常の生活のなかで考えていたことから選びましょう。決まったら、何を調べるのか目的をはっきりさせて、研究全体の手順を考えましょう。天気などによって観察や実験がうまくいかないことがあるので、余裕を持って取り組みましょう。

では、夏休みにしかできない、自分に取り組みたいと思ったテーマに向けて頑張りましょう。

●自由研究のポイント

①実験・観察の方法を考える。

- ・ たくさんの場所、ものを調べる、観察する。
- ・ 高学年では、3回以上実験し、実験結果の平均値を出してみましょう。
- ・ 調べる（変える）条件以外は変えない（そろえる）ことも大切です。
- ・ 本やインターネット、公民館や塾の実験教室を参考にしてもかまいませんが、そのままの研究は出展できません。
- ・ 条件を変えるなど、追加実験をして自分だけの研究にしていきましょう。

②実験・観察をする。

- ・ 実験結果を記録する。（日時・天気・気温・場所・観察したものの大きさ・色・形・変化したところなどを細かく記録しておきましょう。※どんなささいなことでもです。）
- ・ スケッチや写真で記録する。表やグラフにする。
- ・ 観察したものを地図にまとめる。 ・ 調べたものをグループ分けする。

※商品名は出さずに記録しましょう。（例）キレイキレイ（手洗い石けん）

③考察の仕方

- ・ 1・2年生は〇〇しました。こんなところが不思議でした。こんなことが楽しかった。この研究をしたら、自分の思いがこのように変わりました。など
- ・ 3年生は〇〇と◎◎を比べました。～～したら、◇◇になりました。【結果】→違い（同じ所）は◆◆で、こんなことがわかりました。【考察】など
- ・ 4年生はいくつかを比べたら、〇〇や◎◎のように変わりました。【結果】→それは◇◇だと考えられます。【考察】

理科2

- ・5・6年生は実験方法を工夫してみました。(条件を変えてたくさん実験します) ○○と◎
◎の変化とはたらきは～～なので、きっと==になると考えられます。では、他のものだったら==になるのだろうか。→新たな疑問を見つけ、実験し、その結果から考察していく。

●実験や観察で大切なこと（研究したことを作品にするポイント）

①「まとめ方の例」・様式など、このプリントを参考に、研究の流れを分かりやすくまとめよう。

※動機・調べたこと・実験方法・考察・まとめにつながりがあるか。特に、調べたこととまとめの整合性が重要です。

②図鑑や辞典を写すのではなく、実験、観察して調べ、自分の言葉でまとめましょう。

③実験器具や観察で使った道具類、実験資料は、大事に保管しましょう。または、写真に撮っておきましょう。

④内容の観点（観察・観察の仕方）「○○になりました」のところは、次のように書きましょう。

ア．形、大きさ、色、におい、手ざわり、重さ、高い低い、明るさ、音などの様子の変化

イ．長さ、重さ、温度、時間などの変化と量

ウ．性質、状態、つくりなどの数量の変化

エ．原因と結果、順序、全体と部分などの関係

○まとめ方の例とコツ

1 動機（研究しようと思ったきっかけとわけ、不思議に思っていることなど）

①分かっていること（この研究の前に、明らかになっていること、分かっていること）

②研究すること（明らかになっていないことや疑問点、研究したいこと、仮説など）

2 研究の目的・ねらい（どのような点まで）

3 研究の計画・方法

（どんな実験をするのか一目で分かるように。実験する順序を課題ごとにまとめて書く。）

4 実験1

①研究課題

②予想 理由も書く

③準備 準備するもの・実験道具や器具

④方法 説明するとともに、絵や図、写真などを入れるとよい。

観察したときもどこの部分をよく観察したのかを書いておく。

「少し～～」「すごく～～」⇒「○○cmぐらい」「○○分・秒」※具体的に

「○○を調べた」 ⇒「○回調べた合計を（平均を）求めた」

⑤実験・観察の結果

表や各種グラフ、実験中や実験前後の写真などを入れるとわかりやすい。

⑥考察

実験を通してわかったこと。ここが一番すごいというところや自分で考えたというところは、詳しく書きましょう。失敗や成功の原因も自分で考えたこととして書いておくと良いです

5 まとめ・考察（全体の実験を通しての考察）

6 今後の課題・感想（次は～～したい。～～を詳しく調べたい。こうすればよかったなど。）

（参考文献 研究に使った本があれば、題名・著者を書いておく。）

理科3

自由研究の作品例

題材	テーマ	調べること
・動物、植物	昆虫やうさぎなどを飼おう 育ち方の観察、根のひみつなど 花粉が服につくわけをさぐる アメンボの足のひみつ	食べ物、体温、耳の様子、動き 根・茎・葉・実のようす 花粉の仕組み、種類、顕微鏡での観察 特徴や性質、表面張力、水のはたらき
・温度とかさ	色々な物の温度によるかさの変化	空気、水、金属などのかさの変わり方
・電流の大きさ	電流の大きさと発熱	ダム、発電。電流と温度の関係
・その他	金魚すくい名人になろう	すくいかた、素材、大きさ、方法
・物理関係	どの紙飛行機の形が一番遠くへ飛ぶのか 風やゴムを使って車を遠くへ走らせよう メガホンのひみつ	紙の種類、形、切り方、重りのつけ方 プロペラの形やゴムの付け方、車の形 形状、話し方、音の変化、聞こえる範囲

おまけ

- ①丁寧で、見やすい字を書きましょう。
- ②通年で行える研究にも挑戦してみよう。(毎年同じテーマで part 2 part 3・・・)
- ③少なくとも **3つ以上実験のできるテーマ** を考えましょう。

〈保護者の皆様へ〉

子どもにどこまで取り組ませるか。

その学年に応じて無理のないような支援をお願いします。

- ・子どもがすべて取り組むこと・・・動機、観察、図、絵・考察など
- ・大人が助言してあげる部分・・・計画、観察、実験方法と実験・グラフや表、レイアウト
データ集計や文章表記などご協力お願いいたします。

作品の様式（推奨） 作品の内容・レイアウトについて

今年度も、レポート形式による作品募集となっています。(PC で作成してもよい。)

- ・出品に関する規定・・・科学教育振興展覧会・科学展の規定に準じます。

- (1) 研究の内容を A4用紙 8 ページ以内のレポートにまとめる。また、上部余白を 20mm 以上、左右の余白を 15mm 以上とる。 (レポート以外に写真及び資料の添付はできない。 また、作品中に顔写真は載せない)
- (2) 表紙は付けず、1 ページ目に必ず、題名・学校名・学年・氏名を明記する。
- (3) 研究において参考にした資料および文献等は、必ず明記する。
- (4) 市販商品の性能比較にあたる研究は除外する。

【レポートの例】

ゆらゆら ふわふわ パラシュート降下大作戦！

春日部市立幸松小学校
4年 名前

I 研究の動機

パラシュートで人や物がゆっくりと降下していく様子がおもしろいと思い、実際に手作りでパラシュートを作り、高い所から落として遊んでみたいと考えました。しかし、作ってみると、作り方によって落ち方に違いがあることが分かりました。そこで、ゆっくりと降下するための条件を見つけ出して、オリジナルのパラシュートを作ろうと考えました。

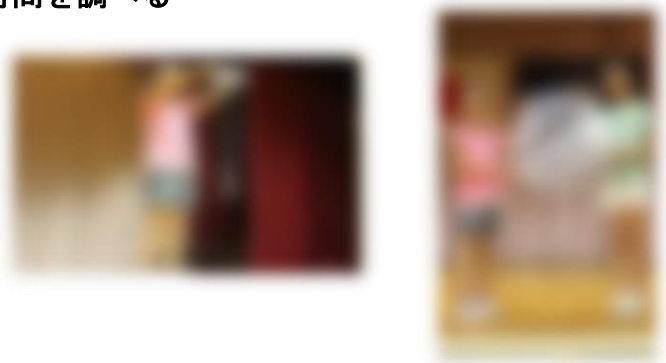
II 研究の準備・計画

1 基本のパラシュート作り

- (1) かさの端がめくれあがってしまった。⇒ひもの付け方を変えた。
- (2) すぐにひも同士がからまってしまい、おもりがひもからすぐに取りれてしまう。
⇒気球をヒントにおもりをのせる箱を作り、ひもをその四隅につけ、からまないようにした。

2 研究内容 ～パラシュートの降下時間を調べる～

- (1) 材料を変えて
- (2) かさの形を変えて
- (3) かさの大きさを変えて
- (4) ひもの長さを変えて
- (5) おもりの重さを変えて



III 研究の内容と分かったこと

1 実験1 〈材料を変えてパラシュートの降下時間を調べる〉

- (1) 実験結果
 - 1位 ビニール袋 2位 紙 3位 ポリ袋 4位 半紙 5位 画用紙 6位 布 7位 プラ板
- (2) 考察
 - かさの重さはできるだけ軽いものを使うとよいと考えられる。
 - かさの形が丸くなり、空気をできるだけたくさんとどめられれば、ゆっくり落下すると考えられる。
 - ◎軽くて丈夫なものがかさの材料に適している。

理科5

2 実験2 〈かさの形を変えてパラシュートの降下時間を調べる〉

(1) 実験結果

1位 円形 2位 正方形 3位 平行四辺形 4位 長方形 5位 ひし形 6位 三角形

(2) 考察

○円形と正方形はゆっくりと降下し、かさがきれいな丸い形をして空気をとどめていたと考えられる。また、左右にあまり振られることなく、他のものと比べると安定して降下していた。

○三角形は中心に空気が集まりすぎてしまい、速く落ちてしまったのではないかと考えられる。空気をできるだけ全体でとどめることができる形がいい。

◎落ちていた時にかさが空気を包むようにきれいに丸くなる形になるものがよいと言える。

3 実験3 〈かさの大きさを変えて、パラシュートの降下時間を調べる〉

(1) 実験結果

1位 直径60cm 2位 直径40cm 3位 直径20cm

(2) 考察

○空気をとどめる面積が広いほどゆっくり降下していくと考えられる。

○今までの実験に比べて安定して降下していたのは、ひもの長さを長くしたことが関わっているのではないかと考えた。

◎面積の大きいかさほど、かさの中に空気が多くとどめられ、ゆっくり降下するといえる。



4 実験4 〈ひもの長さを変えてパラシュートの降下時間について調べる〉

(1) 実験結果

1位 50cm 2位 70cm 3位 30cm 4位 100cm

(2) 考察

○ひもの長さは長ければいいというわけではなく、かさの大きさに適した長さがあると考えられる。

◎ひもの長さは安定した降下に大きくかかわっていると言える。

⇒降下時間が長くなったことから、落とした場所から遠くに着地するようになった。できるだけ落とした場所の近くに着地させるためには、おもりを重くして真下にはたらく力を大きくしていけばいいのではないかと考えた。

5 実験5 〈おもりの重さを変えてパラシュートの降下時間について調べる〉

(1) 実験結果

《降下時間》1位 0g 2位 5g 3位 10g 4位 15g 5位 20g 6位 25g

《着地場所》1位 0g 2位 10g 3位 25g 4位 5g 5位 20g 6位 15g

(2) 考察

○5gや10g入れた箱はほかのものと比べるとピタッと着地することができた。今回のかさの大きさやひもの長さにあった重さであると考えられる。

○25gは着地のしゅん間に箱が跳ねていた。おもりが重いため着地のしゅん間が大きかったのではないかと考えられる。

理科6

◎おもりが重くなればなるほど、降下時間が短くなることが分かった。

○降下の様子を見ていたら、かさが少しだけかたむいていた。そのかたむきが落とした地点の真下からの距離を伸ばしてしまう原因になってしまうのではないかと考えられる。

◎予想では重さに応じて着地場所が変わるとしていたが、結果からおもりの重さと着地場所との関係はあまりないと考えられる。

Ⅳ オリジナルパラシュート作りに挑戦

☆直径60cmの円形のかさにあったひもの長さとおもりの重さを探し出し、今までの実験よりも降下時間が長く、ゆらゆら、ふわふわ安定したパラシュートを作ることになりました。

《オリジナルパラシュート》

【かさの大きさ】直径60cmの円形 【ひもの長さ】100cm

【おもり】20g（4つ）

Ⅴ 研究のまとめ

大きいかさになるにつれて、ひもの長さを長くしていくとよい。そうすることで、ゆらゆらふわふわと真下に近い場所に降下していくことが分かった。

A4用紙8ページ以内ですので、図や表、グラフ、写真などをたくさん活用して、見る人が分かりやすいようにまとめてみてください。



家庭科 1

小学校家庭科発明創意工夫展作品の部

**ちょっとした工夫で、生活が楽しく便利になります。
あなたも作ってみてください。**

まず、あなたの生活を見回してみましょう。ちょっと不便を感じたことはありませんか？台所で、玄関で、洗濯物を干すとき、掃除をするときなどこんな物があったら便利だなと思うことはないでしょうか。また、お年寄りや、体の不自由な人、小さい子や赤ちゃんはどうでしょう。こうなればいいのに・こういう物があればと思ったとき、それが発明のチャンスです。

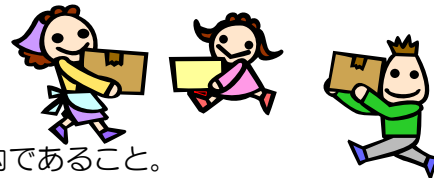
1 発明品について

自分で考えた物であること

縦45cm、横70cm、高さ70cm、重さ20kg以内であること。

材料は、木材、プラスチック、布など自由

2学期の始業式に、作品に作品票を付けて提出



2 過去の作品例

①らくらく植木鉢移動器

重い植木鉢を掃除のたびに動かすのが大変なので、受け皿にキャスターをつけ、動きやすくした。

②長いもすりおろしすべり止め

長いもをする時にすべってしまうのでビニール手袋の指部分を切って手の甲に指サックをつけた。

③日よけ付き帽子

首が日に焼けてしまうので、帽子の後ろに布を収納し、いつでも出して日よけにできるようにした。

④米とぎキャッチくん

米とぎをすると何粒か落ちてしまうので、穴を開けたプラスチックトレーを釜につけられるように切り、クリップで取り外しできるようにした。

たくさんの応募をお待ちしています！！